

# Neues in Nara

Nr.53

2015年10月31日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html

編集: 林 ([hayashiy@zeus.eonet.ne.jp](mailto:hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)) 峯本 ([hmime-24@m3.kcn.ne.jp](mailto:hmime-24@m3.kcn.ne.jp))



“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

## ●行事予定

### 1. クリスマス会

日時: 12月12日(土)17時~20時

場所: 和ダイニング「花小路」

参加費: 3,500円(学生2,000円)

ご家族、お友達をお誘いの上、多数のご参加をお待ちします(詳細、同封の案内チラシを参照)。

### 2. 第10回シュタムティッシュ

日時: 11月8日(日)15:00~16:00

場所: 大安寺権事棟

武舎一夫さんから「マイセン開窯と柿右衛門」と題して話題提供を頂きます。参加申込・問い合わせは林宛(090-8168-4549、又は上記のメール)事前連絡無くても当日お時間空きましたら、どうぞお出で下さい。

## ●行事報告

### 1. ビア・アーベント

恒例のビア・アーベントは7月25日(土)大安寺境内で行われ、奈良日独協会からの参加も得て総勢90名近くの盛況のなか、夏の一日を大いに楽しんだ。



### 2. エアフルト日独協会若手会員来奈



9月18日 Torsten Kreissl さん Martina Hartrampf さん両名が来奈。会員の芹沢友香さんが奈良公園、東大寺、春日大社などを案内、若手会員の交流を深めた。

### 3. 第9回シュタムティッシュ

9月6日(土)大安寺にて開催され、峯本晴輝理事から「板東俘虜収容所とポーネル先生」と題して、同収容所に収容されながら文化講演会など多彩な活動をされた同氏の恩師 Hermann Bohner 先生の話を受けて、日独友好の模範となった Musterlager が紹介された。(左上写真: 鳴門ドイツ館内の第九初演再現模型)

### 4. ドイツ統一記念レセプション

10月3日神戸ベイシェラトンホテルで開催され、河野会長夫妻、藤澤会員夫妻、林理事が出席した。

## ●会員だより

会員の中山全広さんから

「ドイツとの出会いから今日まで」

私が小学生だった頃に家の近くに県立橿原図書館があり、そこにあった外国の歴史や文化を紹介する子ども向けシリーズ本のうちで最初に手に取ったのがドイツの本でした。それが私とドイツとの最初の出会いです。日本と関わりの深い異国に子どもっぽい単純な興味を持っただけなのでしょうが、いつかドイツに行きたいという思いはこの時から芽生えていました。

大学ではドイツ文学を専攻し、4年間ドイツ語漬けでした。ドイツ語は文法の規則を丸覚えしてしまえば意外と読みやすく(無論訓練は必要ですが)、また母音主体の日本語とは違って子音が効いている言葉の響きに魅せられ、楽しく学ぶことができました。卒論で採り上げたのはグラス『ブリキの太鼓』で、今も彼の作品を読み続けています。

そして卒業前に冬のドイツへ一人旅。複雑な内容でなければドイツ語で会話したので、私がドイツ語を話すと驚くドイツ人が結構いたのには笑いました。10日間の滞在でベルリンは勿論、ハンブルク、ミュンヘン、リューベック、ハイデルベルク、ボン等を観て回り、ミュンヘンから少し足を伸ばしてダッハウの強制収容所跡にも行きました。

社会に出てからも音楽や文学等を通じてドイツとの関わりを持ち続けるようにしています。統一からまだ数年も経っていなかったあの頃からどれくらい様変わりしているのか、いつかこの目で確かめられる日が来るのを楽しみにしています。



ミュンヘン、ホーフプロイにて



ミュンヘン市庁舎

## ●新入会員の紹介

山本雅昭さん(奈良市)、平林義則(大和郡山市)のご両名が入会されました。

